

## 若手（35歳以下）会員による「鋼構造の未来探索委員会」（公募趣意書）

日本鋼構造協会は、2015年に設立50周年を迎え、その一環として、鋼構造シンポジウムで「おこせ！鋼構造からのイノベーション」と題して特別講演とパネルディスカッションを開催いたしました。本イベントを企画したタスクフォース（委員長：伊山潤東大准教授、副委員長：山口隆司大阪市大教授）から協会への提言として、鋼構造の今後を見据え、新しいテーマ探索に向けた若手が自発的に活動できる仕組みと場を作ることになりました。

下記の通り「鋼構造の未来探索委員会」を設立します。この委員会では、例えば、IoT、機械学習、データサイエンス、センシング、ナノテク、新素材といった最先端技術を鋼構造に適用・展開するための調査・研究や、宇宙・海洋・地中といったフロンティアにおいて鋼構造に求められる技術の探求、他分野とのコラボレーションの可能性追求などを通じ、次世代の鋼構造技術を切り拓くための「次の一手」を提案することを目指します。既存の、いわゆる「鋼構造技術分野」の枠を超えて、これまで分野外とされてきた技術や知識を取り込み、新たな鋼構造への昇華を目指す、若手会員の積極的な参画を期待します。

- 1) 当協会の若手会員（概ね35歳以下、個人会員、企業会員を問いません）を対象に委員を公募して、特別委員会を設置し、2016年度下期からのスタートを目指す。
- 2) 委員会は2年間を目途に活動する。活動内容（調査、研究、試作・実験、企画、提言、その他）については委員会に一任し、協会の新しい姿を描き、独創性ある次の一手の提案など、自由闊達な活動成果を発信することを目標とする。
- 3) 活動状況は積極的に会員に発信する。鋼構造シンポジウム2017において中間報告（報告会、特別講演会、パネルディスカッションなど形態は任せる）を行い、会員からの意見を踏まえた上で、2年目の活動に入る。最終成果は会長に報告するとともに、2018年の鋼構造シンポジウムで披露する。
- 4) 予算は年間100万円×2年分を目途とし、委員旅費、調査費、その他、必要な経費に使用可能とする。

申込は、氏名、年齢、所属、連絡先（電話、メールアドレス）を添えて、事務局（内田健康、[t.uchida@jssc.or.jp](mailto:t.uchida@jssc.or.jp)）までお願い致します。（申込期限：12月16日）